第８回西脇小学校校舎基本計画検討委員会議録

◇日　時　　平成27年1月29日（木）　　18:05～18:20
◇場　所　　マナビータ　３階会議室
◇出席者　　検 討 委 員；足立 裕司、岸本 信子、來住 憲明、森本 寿文、藤田 位
（敬称略）　　西脇 裕晃、村上 純子、小林 拓郎、近藤 浩介
欠 席 委 員；腰原 幹雄、前田 博夫、内橋 実三郎、高瀬 博充
事　務　局；笹倉 邦好、小西 明美、森脇 達也、池田 正人

◇配布資料　答申案

◇議事要旨

１　開会

委員長：　今日、答申を提出する日を迎えることができたのは、委員のみなさまのご尽力のおかげ。

委員長としてやってきたが、最後の判断で意見が分かれてしまった。その理由を考えてみたところ、目の前にある諸問題、例えば子どもたちが寒いこと、地震が起こった時の危険、便所の汚さ、音が響くこと、など目の前に迫る様々な問題を前にして、みなさんが強い責任感でもって「このままでいいのか」と危惧されたからだと思う。私たち専門家は、古い建物がどのように改修されていくかということについて、ある程度予測することができたのだが。一方で、文化的・歴史的な価値や、学び舎としてたくさんの記憶が詰まっているという価値について、みなさん本当によく理解されていたと思う。

新しい校舎を造るということは大変な問題で、大変な努力が必要であり、またその可能性も見えにくいものである。すでに価値のある建物があって、それが持つ諸問題を解決していく方がずっと近道であると、私と腰原副委員長は判断した。西脇市が大切にしていくべきたくさんの特徴を備えた建物をなくすべきではないと考えた。

最後の段階では意見が分かれたものの、木造校舎を残してその諸問題を解決し、そして西脇市が自慢できる建物として上手に使っていくことができるのではないかと考え、最終的に３棟保存を決めた。

意見を答申書としてまとめ、今日までにみなさんに確認いただき、ここに公式の文書としてとりまとめた。それをこれから、教育委員長に提出することにする。

２　議事

⑴答申書の提出について

足立委員長から藤原教育委員長へ、西脇市立西脇小学校校舎基本計画についての答申書が提出された。

教育委員長：　慎重に審議いただきありがとうございました。この後、臨時の教育委員会を開催します。

どうもありがとうございました。

３　閉会

教育長：　慎重に審議を重ねていただき、本日答申書を提出していただきました。足立委員長、腰原副委員長をはじめ、委員のみなさま方にお礼申し上げます。

以　上